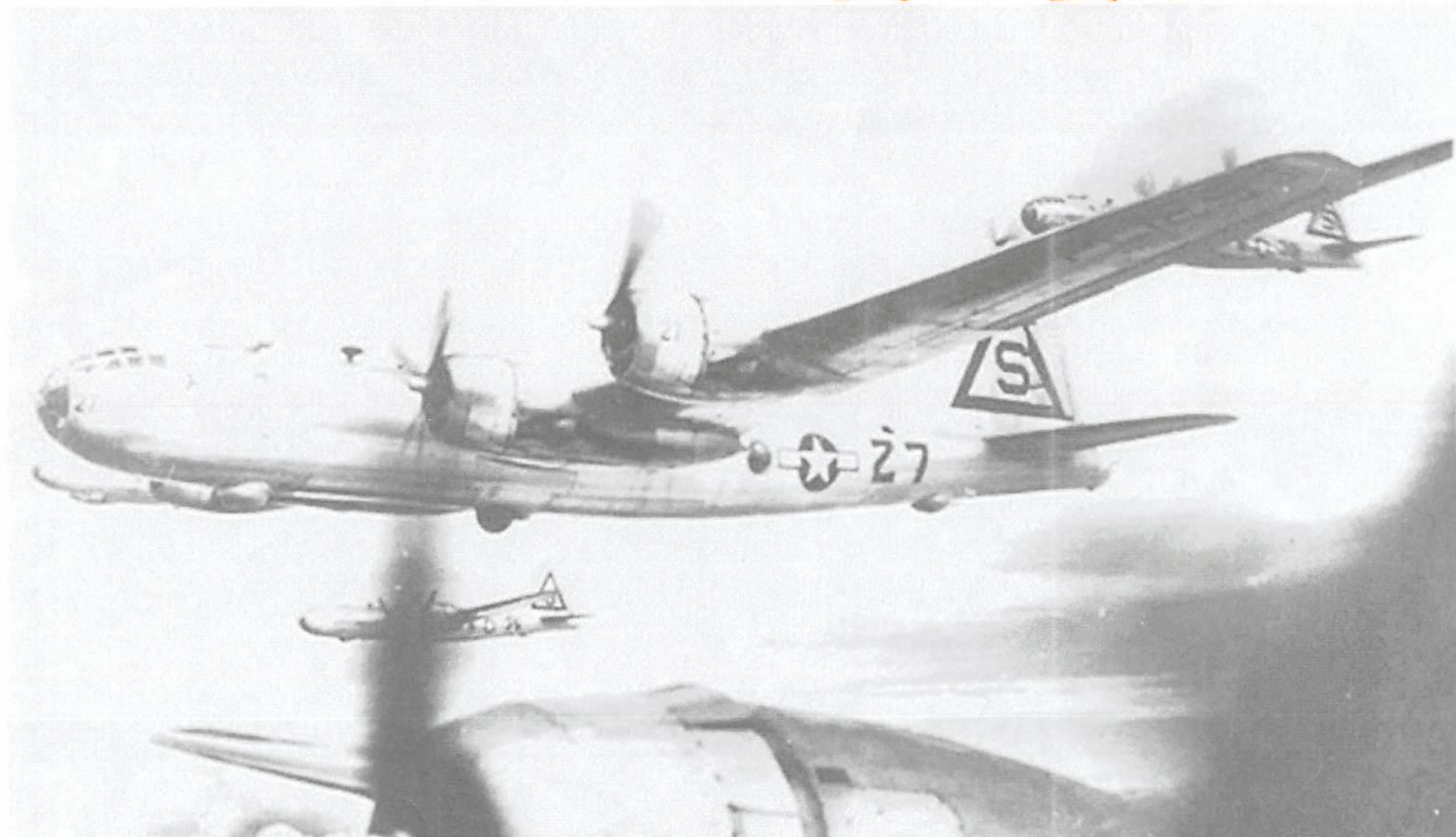


宇都宮空襲

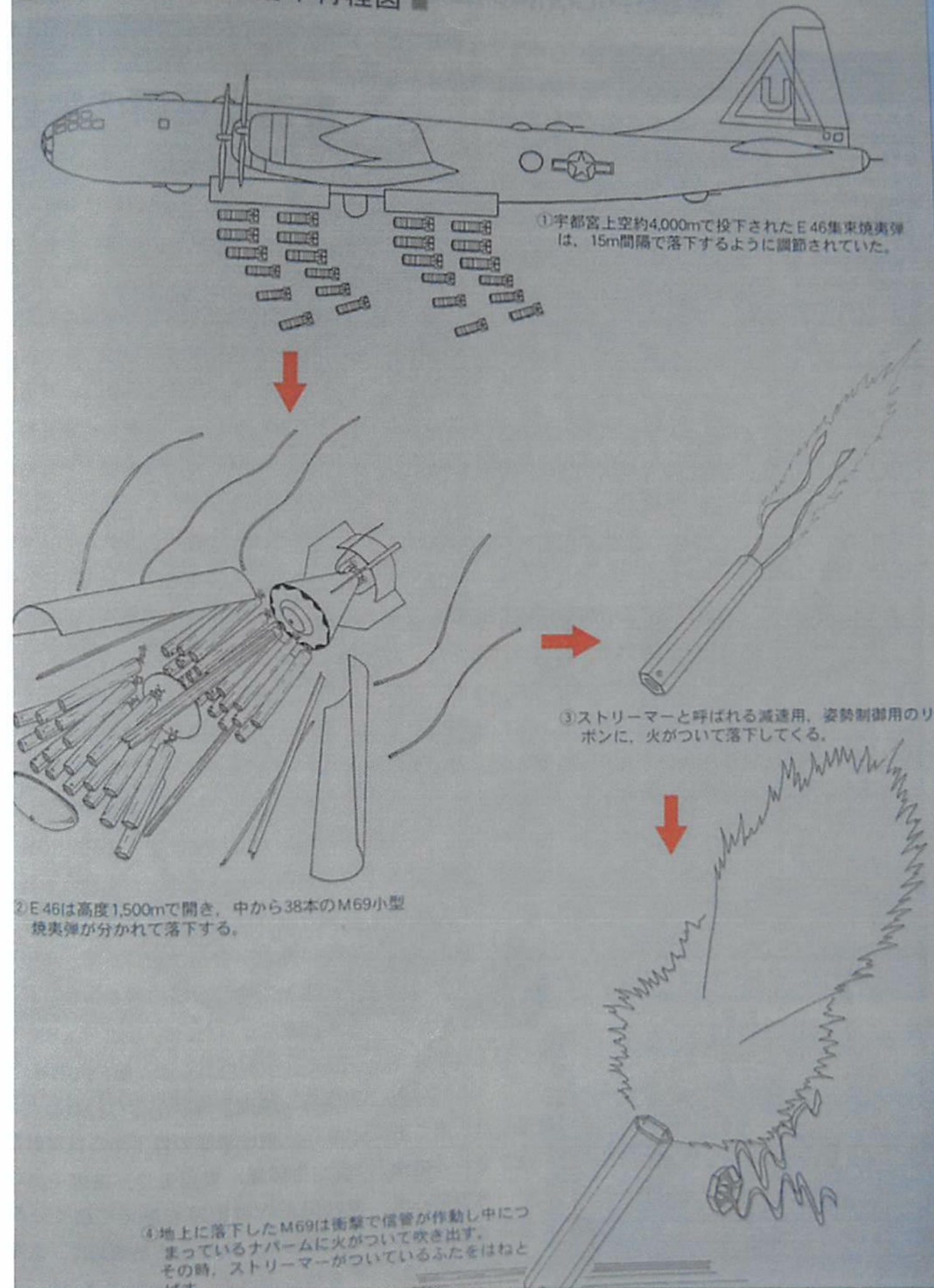
運命の昭和20年7月12日

午後11時19分

B-29 115機 襲来



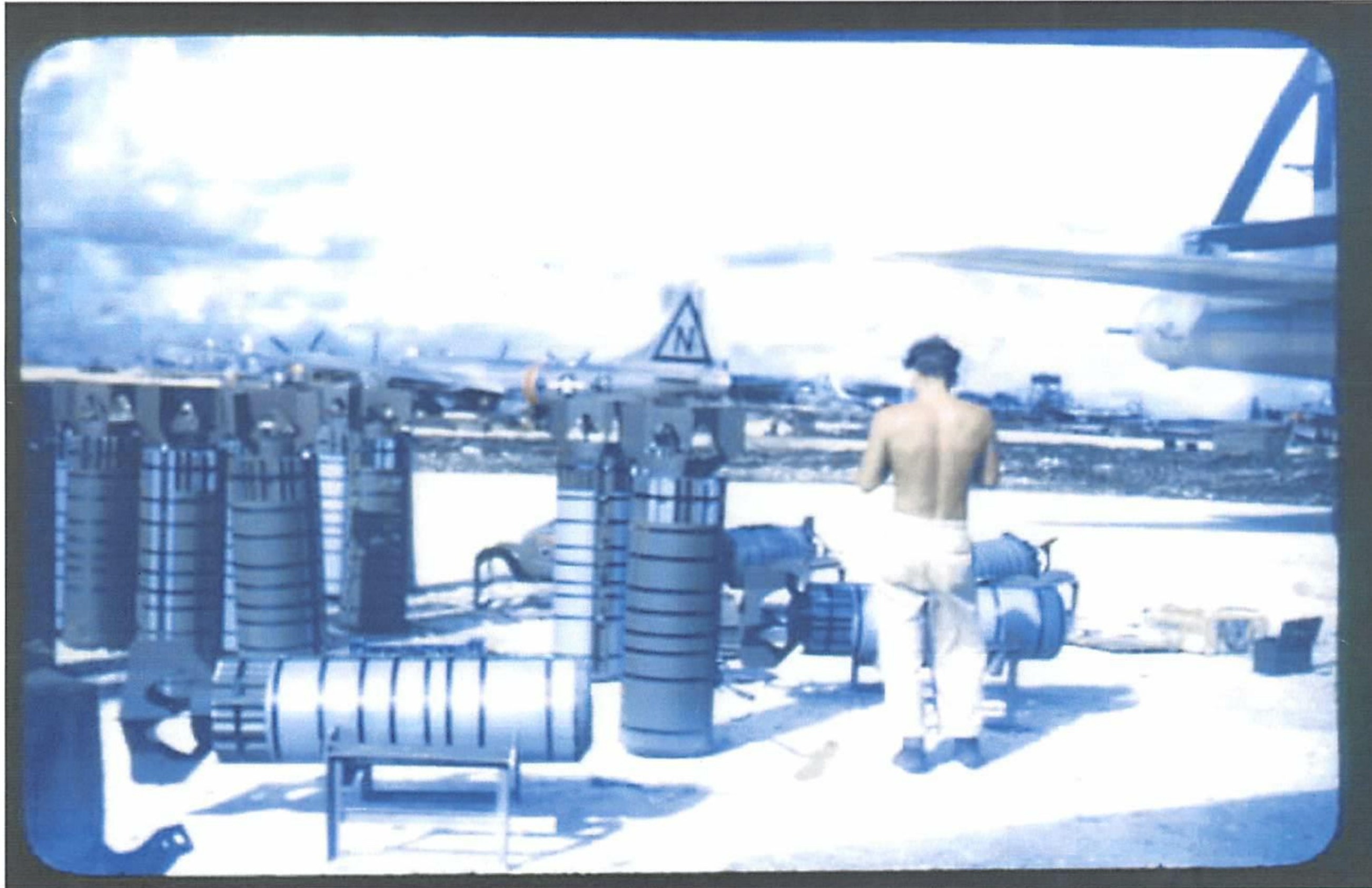
■ E 46集束焼夷弾落下行程図 ■



焼夷弾について

- 木造家屋が密集した日本の都市攻撃用に開発された。一個のE46集束焼夷弾に38本のM69焼夷弾入っている。上空4000mから投下され、1500mの高さでE46集束焼夷弾がM69焼夷弾に分解、落下する。中にはガソリンと生ゴムからなるナパームと呼ばれる混合物が入っており、落下の衝撃で信管が作動発火し、周囲に飛び散る仕組みになっていた。

E46集束焼夷弾(クラスター爆弾)



M69焼夷弾(子爆弾)



旧宇都宮専売公社跡(現旭中)



東武宇都宮駅方面



現オリオン通り付近



御本丸付近



池上町方面



大工町方面



大通り付近



市街地の惨状（東京大空襲より）



市街地の惨状（東京大空襲より）



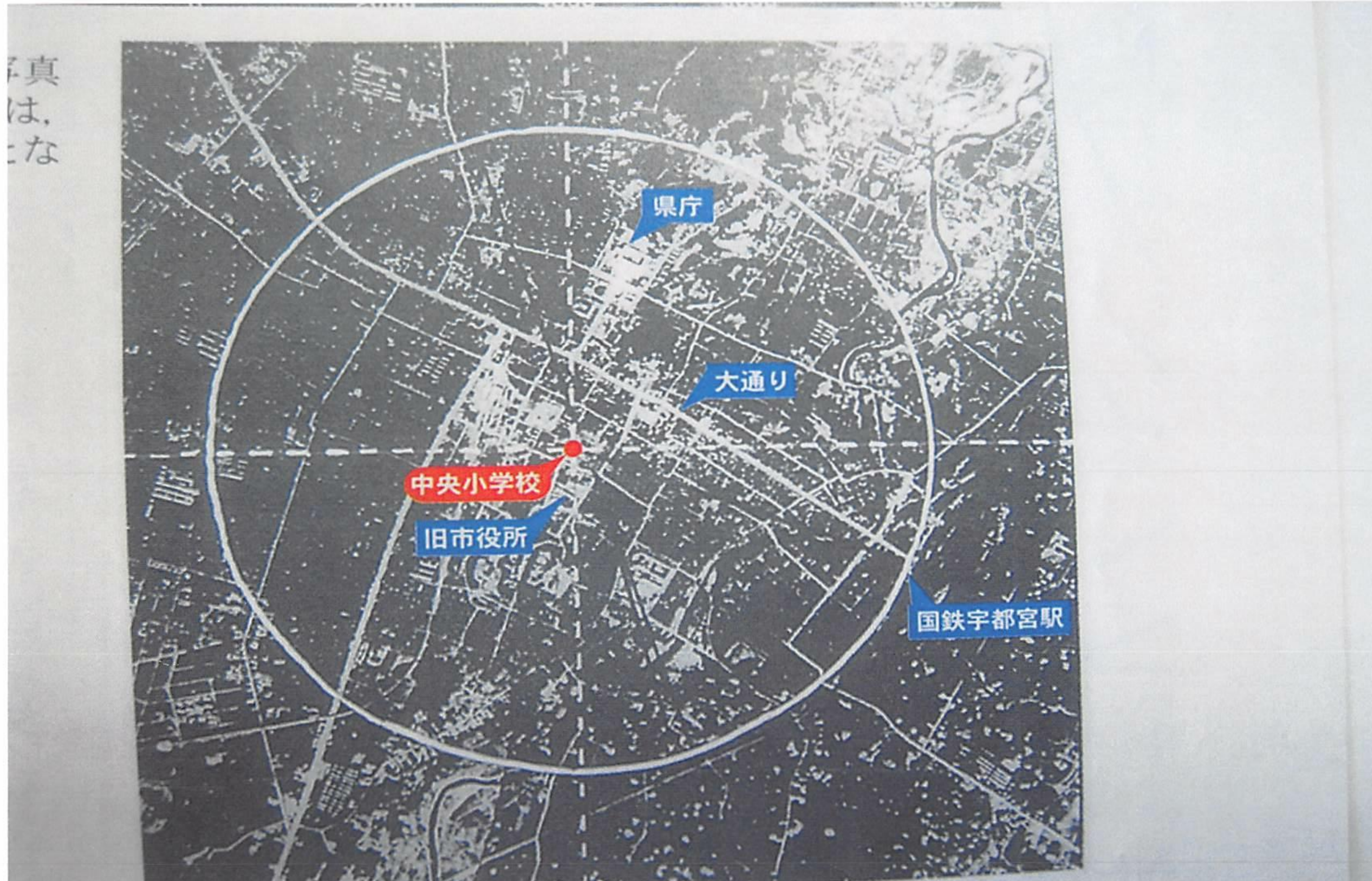
市街地の惨状（東京大空襲より）



市街地の惨状（東京大空襲より）



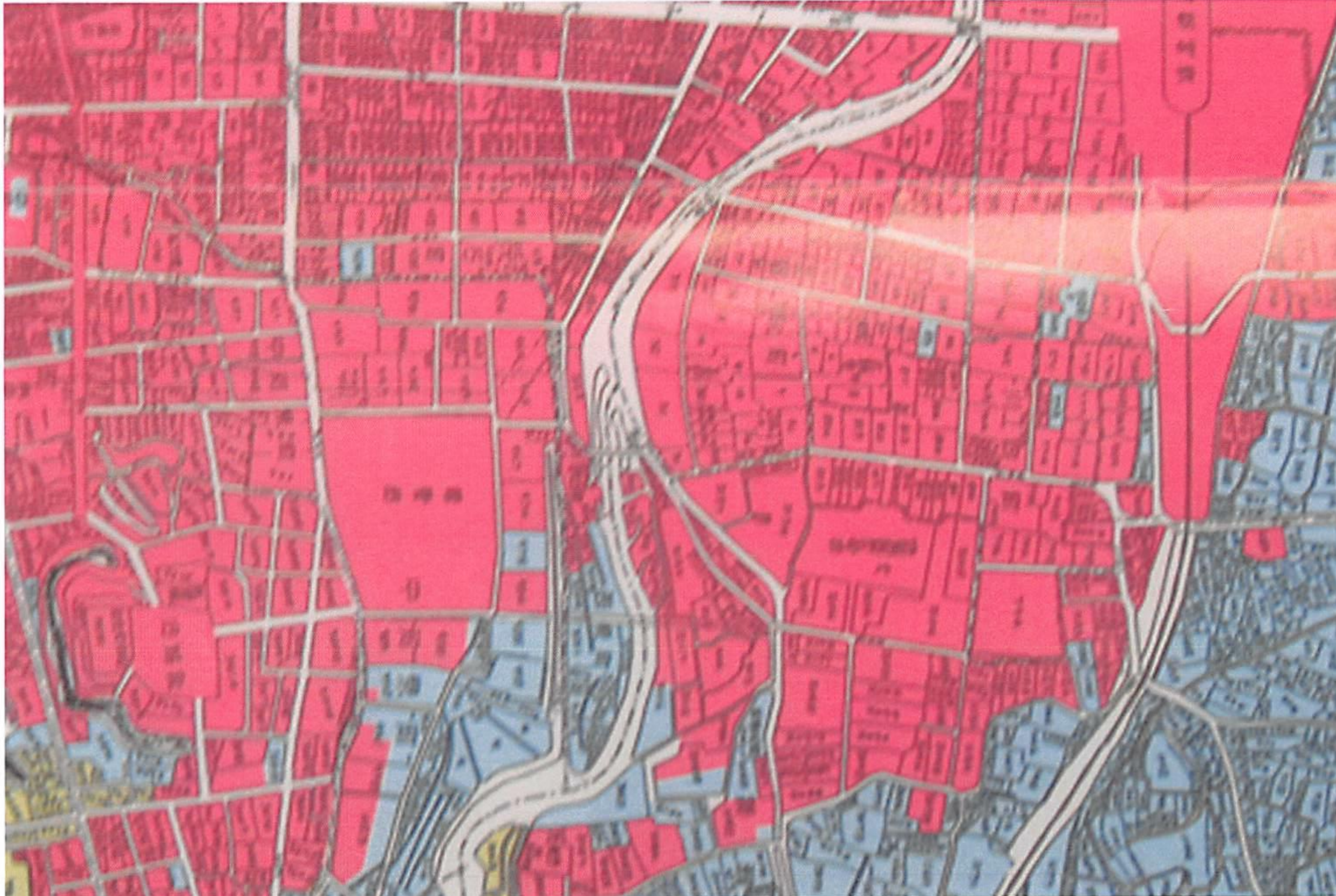
ターゲットは宇都宮中央小



宇都宮空襲による被害状況図



旭中学区の被害状況



宇都宮空襲で投下された焼夷弾量

E46集束焼夷弾	2, 200発	約440t
----------	---------	-------

M47焼夷弾	12, 700発	約360t
--------	----------	-------

計	14, 700発	約800t
---	----------	-------

東京大空襲(3月10日)の約半分量に相当

当時の宇都宮市民一人あたりにM69焼夷弾1本相当にあたる量が投下された。

被害

死者 620人以上

重軽傷者 1,254人

罹災世帯 11,805世帯

市街地の50% 旭中学区の80%以上が焼失

旭学区の罹災世帯 2,247世帯

同罹災人数 6,694人

確認できた旭学区の死者 86名

(宇都宮空襲・戦災誌より)

被爆地広島・長崎と地方都市空襲

- 広島 死者**9万～12万人**(8月～12月まで)
- 長崎 死者**7万3千人**
- 東京大空襲 死者 **8万～10万人**
- 地方都市空襲総計 **死者約33万人**

資料によっては**40万とも60万とも**

負傷者は43万人 被災人口は970万人

アメリカ軍による**民間人**への**無差別爆撃**は
明らかに**戦時国際法違反**

孤児合計 1 2 3 ・ 5 1 1 人

年齢別	種類別	
1 歳～ 7 歳	1 4 ・ 4 8 6 人	
8 歳～ 1 4 歳	5 7 ・ 7 3 1 人	
1 5 歳～ 2 0 歳	5 1 ・ 2 9 4 人	
戦災孤児	2 8 ・ 2 4 7 人	
引揚孤児	1 1 ・ 3 5 1 人	
棄迷児	2 ・ 6 4 7 人	
一般孤児	8 1 ・ 2 6 6 人	

昭和23年2月1日

奇跡の大いちょう

市役所前にある大いちょうは昭和20年7月12日深夜にB-29の大編隊の焼夷弾爆撃を受け、枝のほとんどは焼け落ち、**表皮は炭化**し大いちょうの命もついていたと市民の多くが思った。

しかし次の春には新しい芽を息吹かせ、その数年後には**銀杏を实らせるまでに復活**し、大いちょうはまさに戦後の宇都宮復興のシンボルとして市民の心に刻まれた。

宇都宮空襲と大いちょう



大いちょうプロジェクト(一条中)

- 宇都宮の過去の不幸な戦争の歴史を振り返り、平和の大切さを理解する。
- 大いちょうは焼夷弾に焼かれて枯れてしまう危機に直面したが、奇跡の復活を果たした。
その姿を通してどんな困難にも負けない精神を涵養する。

大いちょうの銀杏拾いと発芽した苗



大いちょうプロジェクトの取り組みについて



一条中学生が宇都宮グランドホテルに
大いちょうの苗木を寄贈



大いちょうの子孫(旭中)



「教える育てる道徳教育」指導資料

ふるさととちぎの心

栃木県道徳教育郷土資料集（中学校編）

栃木県教育委員会

8